

南大泉図書館 図書館利用者懇談会

- 1 日時 令和7年10月31日(金) 15時～16時15分
- 2 場所 南大泉図書館 2階 教室
- 3 出席者 利用者 10名
図書館 3名
(南大泉図書館長、館長代理
日本コンベンションサービス株式会社 1名)
- 4 テーマ 「これからの南大泉図書館のサービスについて」
- 5 配布資料 資料1 南大泉図書館実施事業の紹介
資料2 次年度以降の事業について
- 6 次第
 - 1 南大泉図書館長挨拶
 - 2 南大泉図書館自己紹介
 - 3 参加者自己紹介
 - 4 これまでの南大泉図書館のサービスについて
 - 5 懇談(テーマ これからの南大泉図書館について)
 - 6 南大泉図書館長挨拶

南大泉図書館利用者懇談会 会議録

図書館

本日は、南大泉図書館の利用者懇談会にご出席いただきまして本当にありがとうございます。開会に先立ちまして館長からご挨拶申し上げます。

1 南大泉図書館長挨拶

南大泉図書館と子どもと本のひろばの館長をしております工藤と申します。よろしくお願ひいたします。本日はお忙しい中お集まりいただき本当にありがとうございます。本日は「これからの南大泉図書館のサービスについて」のテーマを中心に、皆様から貴重なご意見をいただき、今後に生かしていきたいと思っています。どうぞよろしくお願ひいたします。

2 南大泉図書館職員自己紹介

図書館

司会を務めます館長代理の田中と申します。よろしくお願ひいたします。

図書館

指定管理者の日本コンベンションサービス株式会社の内田と申します。

よろしくお願ひいたします。

3 参加者自己紹介

図書館

これからお話をさせていただくに先立ちまして、ご参加いただいている方にも差し支えない範囲で自己紹介をしていただけたらと思います。それでは左の方からよろしいでしょうか。

ねりまおはなしの会

こどもと本のひろばと南大泉図書館で「ねりまおはなしの会」としておはなし会をさせていただいております、「ねりまおはなしの会」です。ひろばができる前にこちらの図書館で活動していて、その前に関町図書館で、こちらができることを先輩達から伺って、できたときから参加させてもらっています。そのころちょうどおはなし会を始めたところでしたので、あまりお手伝いはできなかつたとは思いますが、ここはとても懐かしいところです。今日は後輩達に誘いを受けて伺いました。よろしくお願いいたします。

ねりまおはなしの会

「ねりまおはなしの会」です。よろしくお願いいたします。「布の絵本」においては今年から代表です。またひろばでは「ブックスタート」の代表もしております。

ねりまおはなしの会

同じく「ねりまおはなしの会」です。私の娘がこちらの図書館で小学生のときに「ねりまおはなしの会」のおはなし会を聞いていました。昔の話ですが、それだけ続けているのだと思うと私達も月に1回ですが、ちょっと責任を感じながら活動しております。よろしくお願いいたします。

利用者

どの団体にも属していないのですが、利用者です。よろしくお願いいたします。

街かどケアカフェ南大泉地域包括支援センター

南大泉地域包括支援センターの生活支援コーディネーターしております。今日はよろしくお願いいたします。時間の関係上本日は40分で離席させていただきます。

利用者

南大泉1丁目に住んでいます。地域の代表で、一応、町会の会長をしております。よろしくお願いいたします。

やすらぎシティ地域包括支援センター

やすらぎシティ地域包括支援センターです。生活支援コーディネーターをしております。いつも図書館にはお世話になっております。今日はよろしくお願いいたします。

南大泉地区区民館

南大泉地区区民館の館長です。日頃、地区区民館の事業にご協力いただいて、チラシの配布や広報の一部を担っていただくなどありがとうございます。よろしくお願いいたします。

ハイムガーデン南大泉

2丁目にありますグループホームのハイムガーデン南大泉でケアマネージャーをしております。二か月に一度、館長さんを始めとしてお二人に来ていただいて、大きな絵本や仕掛け本のような色々な読み聞かせをしていただいています。入居されている皆さん

は結構重度な方もいらっしゃるのですが、起きて頑張って参加しているような形です。いつも本当にありがとうございます。

図書館

こちらこそありがとうございます。

利用者

こちらの図書館の近くに住んでおります。すごく利用はさせていただいております。皆さんと知り合えていいところに来たと思っています。楽しく利用させてもらっていて、毎日とはいかないまでも、週の半分以上は通っていますので、色々ありがとうございます。

4 これまでの南大泉図書館のサービスについて

図書館

こちらこそよろしく願いいたします。それではこれまでの図書館のサービスにつきまして館長からご説明いたします。

図書館

南大泉図書館のことについて話し合う前に、今までどのようなことをやってきたのかを皆さんに知っていただければと思ひまして、簡単ですがここ一年ほどの活動を説明させていただきます。お手元の資料 1 をご覧ください。生きがいや娯楽、生活の充実に繋がる事業としては「大人の趣味活」として「折り紙」「バラ」「タロットカードの魅力」などを行いました。「折り紙」は参加する方に折ってもらう事業になり、頭や指、両方の体操になるということで、結構人気の事業になっており継続で行っております。「バラ」はこの植物が歴史的にどういう形で生活に取り入れられてきたのかを解説しました。実際に敷地内に 1 株バラを植えて成長度合いを楽しむという試みも継続的に行っております。「タロットカードの魅力」は占いに使うだけではなく、神話や伝説の繋がりが色濃いものですから、占いというよりもそちらの側面からカードを楽しみませんかという紹介をさせていただきました。「南大泉寄席」というのは、いわゆるアマチュアの講談師の方々に来ていただいております。講談とともに落語会もやっておりまして、こちらは大泉落語研究会に来ていただいて、これも定期的に行っております。また、子ども向けのおはなし会を毎週水曜日と第四土曜日に行っております。それから「保育付きブックタイム事業」は、赤ちゃんがおられる保護者の方にも本を楽しんでいただくためのものです。保育士の方に来てもらって一定時間お預かりしている間に、図書館で本をゆっくり読んでいただくという事業になります。これも好評で次はいつやるのかという声をいただいております。

知識や情報の習得につながる事業としては読書サロンの「ゴッホを語ろう」や「英語で楽しむ音読」を行いました。ゴッホは今年から来年にかけてかなり大きな展覧会を開催しますので、話題のものとしてゴッホの生涯や身边的人々を中心に解説を行いました。この事業は解説の後、双方向にゴッホについて語ってもらう場を設けました。「英語で楽しむ音読」は一時中断していましたが、「ぜひまた再開してほしい」という声がありましたので今年復活しました。

デジタル推進事業としては、「ホームページから本を予約しよう」というのを行いました。デジタルになかなか馴染まない年配の方向けに行いました。

医療講座「腎臓病」というのは、近くにあります保谷医院の先生に来ていただいて専門の病気について解説をしていただきました。健康講座の「姿勢改善ヨガ」はヨガインストラクターの方に、「マッサージ」は鍼灸師の方に来ていただき、ツボなども教えていただきながら軽く運動も交えた講座でした。

図書館の外においてもおはなし会を行っております。今日来ていただいているハイムガーデンさんやニチイホームさん、地域包括支援センターさんなどに伺って継続的に実施しております。

あとは地区のお祭りなどにも積極的に参加しております。ついこの間も「地区祭」に参加して「絵本クイズ」を行いました。あいにくの雨でしたが 250 名ものお子さんに参加していただき、子ども達の楽しそうな様子を見て今後も参加したい気持ちを新たにしました。練馬区の特徴として毎年大根の「収穫体験」も行っています。

それから「まちなか図書館」という、リサイクル本を周辺の施設などにお届けする事業も行っております。今日来ていただいている地区区民館さんや地域包括さん、ハイムガーデンさん、児童館さんや西大泉びよびよさんなどの施設にもお届けしています。これも年に何回か継続してお届けしています。

また練馬区と東京都との連携事業として「年金講座」、東京都とは「スマートフォン相談会」を開催しています。地域との事業としては地域包括支援センターさんと協働で「折り紙」「写仏」「介護保険を知ろう」「認知症サポーター養成講座」などを行いました。

次に力を入れているのが動画になります。YouTube の「オリジナル絵本手話付き読み聞かせ」に日本語版や英語版をアップしています。それから東京都行政書士会練馬支部にご協力いただき作成した「著作権を学ぼう」の解説や、ボランティアの方に朗読をお願いした「朗読の時間」を見ることができます。これまでの図書館のサービスはこんなところになります。

5 懇談（テーマ これからの南大泉図書館について）

図書館

今年度の事業を中心に説明させていただいたのですが、今後新しい事業を考えていくにあたりまして、皆様からご意見やご要望を伺えればと思っています。いかがでしょうか。

利用者

私は、去年この会合に初めて参加させていただき今日 2 回目なのですが、ちょうどその頃世間を騒がせていた闇バイト、詐欺、強盗の問題だとか、気候変動などによる線状降水帯などで小さな川が溢れてしまうことなど、これは大泉地域としても決して他人事ではないなど、そういうことに関する注意方法などを教えていただけたらと思っていたら、同席の地域包括の方から「それは私達が集会所でやっています」とご案内いただけた、それも図書館に来たことによる縁でそちらを紹介していただけたと思っています。

そこでは石神井警察署や消防署の方が講師に来てかなり具体的でホットな話をしてもらい、特に高齢者の方々は用心をしてくださいねという話をいただいたりしました。こういう場を通じて私の知らない世界とまた繋がることができたなと感謝しています。もうひとつ「ゴッホを語ろう」ですが、館長さんが美術に造形が深いので、ときおり美術や美術館に関する説明をこれまでもいただいているのですが、その後聞いていた方からそれぞれ自らが好きな美術に関する話もあったものだから、私が去年この席で「もっと双方向の対話ができるような機会を作ってはどうか」と発言しましたが、さっき話にもありましたように、その後この6月にずばりゴッホを語ろうという講座をしていただきました。好きな絵についての話ができただけは皆さん楽しかったのではないのでしょうか。ちょうどご説明にもあったように都美術館でゴッホ展も開催中ですしね。あの後、友達に紹介したところ感謝され鼻が高かったです。色々お願いしたことが即実現しているのは嬉しいことです。

図書館

昨年ご提案いただきました双方向の対話は、実施させていただくなど事業にも生かされています。ご提案いただきました「川柳」や「声の老化」に関する講座はこれから実施予定です。

他にいかがですか。

ねりまおはなしの会

「声の老化」という講座で思い当たるのですが、去年初めてこちらの会議に参加して、その時に中学校の先生が「子どもが本を読まなくて困っている」とか読解力の話とかをされていて、先生方は苦勞されているのだなと思いました。私も朗読を少し勉強したことがあるのですが、ボイストレーニングとか音読のような、気持ちよく声を出す講座があると大人も青少年もよいのではと思います。以前実施していただいた狂言の事業で狂言師の方が声の出し方をお話ししてくれて、声の出し方もこういう時はこう笑うとか実践をしていただいてありがたかったです。小さい子から高齢者まで幅広い年代に参加してほしくてその講座をやられていると伺って、とてもよかったです。子どもがそういうことできちんと声を出すことができたら、本人も親も嬉しいと思うし、それは読解力に繋がると思うんですね。高齢者にとっては発声を良くすることにも繋がるし、幅広い年代の方がそういうものに参加してお互いの声を聴けるというのは、特に高齢者にとっては子ども達の声は元気をいただけるので、具体的には言えませんが、狂言の講座に続くようなものがあったら嬉しいと思います。

図書館

ありがとうございます。検討いたします。

利用者

なにをやってほしいかは具体的に浮かばないのですが、受けるだけではなく話をする機会があったら嬉しいと思います。それからなにをするかは別ですが、パソコンの基本の使い方はわかっていますが、ここで使うルールがよくわからない時に尋ねることができるのかなと思いながら、横目で見ていただけなのですが。そういったことも聞けば教えていただけるのですか。

図書館

可能な限り対応いたしますのでお声掛けください。

利用者

検索の仕方も通常のやり方はわかりますが、それ以外でわからないことを聞いてもよいのかなとちょっと思ったりします。探せない本があった時に図書館の方に聞くととても親切に教えていただけていますが、忙しそうにしていると聞きづらいことがあるので。

図書館

気兼ねなくお声がけください。カウンターにレファレンスというコーナーがありますので、声をかけていただければいつでもお探しいたしますし、検索についてもお聞きください。

利用者

奥のカウンターですね。わかりました。

ねりまおはなしの会

今、古典文学を勉強しているのですが、昨年大河でもやっていた「紫式部」とかの古典文学も講座をやっていただけると嬉しいです。源氏物語の勉強をやっていのですが、なかなか奥が深くて理解できないような平安時代のこととか、やっていただけたらと思います。

図書館

講師の方を招いてもいいですね。参考にさせていただきます。

ねりまおはなしの会

はい。

利用者

日本の三大古典話芸というのがあって、落語、講談、浪曲というのがそれだといわれていて、浪曲は最近元気がないのですが、講談と落語についてはこちらでも定期的に会を開いていて、つい先だっても講談をやられていていずれもほぼ満席なのですね。満場の喝采を浴びて評判も良く、お帰りの方々もみな満足気な表情で、友人に「うちの近くの図書館では、三大話芸のうち講談と落語の会を定期的にやっている」というと、うらやましがられています。渋谷や世田谷、港区などの住人である友人から「うちの近くの図書館ではやっていないので恵まれている」といわれ、つい鼻高々になったいきさつがあります。あれだけみんなが集まって満足して帰れるのは、今の辛気臭い世では貴重な機会を貰っています。これからもお願いいたします。

図書館

ありがとうございます。プロの方に頼んでいるわけではなくて、先方からも「ぜひやりたい」という申し出があって実現しているもので、今後も続けていければと思います。

やすらぎシティ地域包括支援センター

図書館さんとは本当にこの1年連携をとらせていただいて、参加のみなさんの感想をお伝えできればと思います。最初に「まちなか図書館」で図書館の方が私ども併設の特別養護老人ホームの方に来てくださって月1回位リサイクル本を持ってきていただいているのですが、大変好評で入居者の方も要介護3以上の方なので認知機能が低下されて

いる方も多いのですが、先日持ってきていただいた野球や車の本など喜んでくださっていて、今度、園芸の本や季節の花とかできればお願いしたいと思います。住んでいる方とショートステイで来ている方もいて、本は1階に置いてあるのですが、部屋がユニット式になっていて各部屋でみなさん読んでいらしてとても喜ばれています。包括支援センターでは街かどケアカフェ事業とあって、地域の方が気軽に認知症予防ということでいろいろな活動をしておりまして、今日も実は今の時間、近くの地区区民館で「ねりまゆるらく体操」を行っています。地域の方が20人位参加して介護予防に努めています。そのような中で図書館とは今年の1月と5月に「写仏」を行いました。「写仏」というのは、仏様の姿を上から写すだけなのですが、もう2回ほどさせていただいたのですが、やってみたら本当に心が穏やかになり、短い時間でしたがとても夢中になれる時間だったと好評でした。また「折り紙教室」も開催していただきました。オレンジカフェとあって高齢者向けに実施していますが、そこに講師として図書館から来ていただいて、折り紙で素敵な花束を作ってください、みなさん「お孫さんに見せる」と嬉しそうに帰って行かれました。またお願いいたします。あと今年初めて地域連携事業ということで、図書館で「介護保険」の講座と「認知症サポーター養成講座」をさせていただきました。包括で宣伝するとどうしても通ってきている地域の高齢者の方にしか宣伝していないのですが、図書館が行うとホームページに載せて下さるので、普段私達があまり出会うことがない若い年代の方にも広めて頂き、いい経験ができました。またなにかありましたらおっしゃってください。

利用者

「写仏」に参加してのお礼の手紙を書いたものですが、その2日後に白内障で入院したので、その前にとっても心が落ち着いて穏やかに入院しました。

図書館

ご丁寧にお手紙を持参されてこちらも嬉しかったです。

ねりまおはなしの会

こちらの図書館は、建設当初は図書館単独で建設予定が、結果として青少年館と一緒にということで小さい図書館になったという経緯があったかと思います。ほかの図書館の懇談会にも参加しましたが、大きな図書館は利用者の要求も多く、その要求に応じていたら本来の図書館の仕事ができないのではと思いました。ここは地域の要求をどんどん受けていらっちゃって、小さな図書館にしかできない、本当に助け合いながら活動をしていると思います。それで思ったのは、最近小中学校が近いのにも関わらず、小中学生の読書の意識が弱っているのではないかということです。昨日もこのことを思ったのですが、青少年の活動は活発なのかとかどうなのかと思って。

図書館

青少年向けの事業を行ってもなかなか集客が難しいというのがあります。中高生の活性化というのは気になっています。2階の教室は自習用として結構使用されていますが、読書離れはどうしてもあります。

ねりまおはなしの会

その分青少年館にはドラムやピアノの楽器があって、レクホールで演劇活動をするな

ど集客につながるものがあるといいですね。

ねりまおはなしの会

ここでは「大人のためのおはなし会」ができるのではないかと思います。というのは今一緒におはなし会をしている人と会ったのも、そういう会があったからなのです。たまたま図書館の人で演劇をすることが好きな人達がいる、そういう会が時々あって結果としてあれも活性化に繋がったなと思うんですね。

図書館

12月に「ねりまおはなしの会」と「大人のためのおはなし会」をさせていただきます予定です。

やすらぎシティ地域包括支援センター

今伺って感じたのですが、私は地域生活コーディネーターという役職で、地域のみなさんの横の繋がりをつくってネットワークを構築しようという職種なのですが、その中で練馬区は多世代交流に力を入れてほしいという話がありまして、あいあいあい南大泉さんという子育て施設が今、月一回「高齢者の方でもだれでも来てください」という活動をされているんですけど、図書館で大人も子どもも一緒に聴けるようなおはなし会があったらいいなと思います。この地域には大勢高齢者の方がいらっしゃって、お子さんが好きな方もたくさんおられるので。どんなおはなし会かといわれるとわからないのですが。子どもも高齢者も楽しめるようなおはなし会があったらいい交流ができるのではないのでしょうか。今後こちらの老人福祉施設でもおはなし会を開催していただければと思います。

図書館

検討させていただきます。

ねりまおはなしの会

私達月1回第一水曜日の3時半からその和室でおはなし会をしているのですが、たまに高齢者の方がいらしたりすることがあるんです。だからといってその方向けに話すのではなくて、昔話だと本当に小さい子から高齢者まで聴けるので、たまにいらしてくれることがあります。

ねりまおはなしの会

そういうチラシがあれば、私どもで地域の元気な高齢者の方々に配布できるので教えていただければと思います。

利用者

そのおはなし会が、「大人がいい」とは書いていないので、私が見ても「ちょっとおばあちゃんすぎるから行っちゃいけないな」とチラシを見るたびに思っていました。

図書館

「どなたでもどうぞ」の一文を入れると来ていただける方が増えますね。全ての世代に力をいれていきたいと思っています。

ねりまおはなしの会

そういう要望があるのは本当にうれしいです。

利用者

おはなし会の内容がなんであれ、「大人もどうぞ」という一文があれば参加したい大人もいると思います。

ねりまおはなしの会

「ねりまおはなしの会」でも今それを考えています。あかちゃんから大人までと。

ねりまおはなしの会

もっとすごいことには妊婦さん、「産休中で時間があるので」といつて来ていただいたこともありました。胎教にもいいし。

ねりまおはなしの会

私が忘れられないのが、病気でなかなか会社に行けずしばらく自宅にいたんだけど、たまたま図書館に来てみたらおはなし会をやっていたのでふらっと「いいんですか？」と入られた方がいました。私達が小さい子にしているお話も楽しんでくださって、「すごく癒されました」と言っ。て。りんごの手遊びをやったのですが、「帰りにりんごを買っていきます」といつていただけました。

利用者

この地区は敬老館があったのがなくなって、ここは青少年館ですので、お年寄りが気楽に参加できるようなことがあったらいいなというのがあります。

利用者

今朝のニュースでショッキングな話があったのですが、北海道の北見市で図書館を3つ位つぶすという話があるそうです。やはり過疎地だと人口も少なくなって多分その町の財政が苦しくなっているのだと思うのです。そうした時に図書館のようなところが目をつけられやすいのかなと。やはり国民の知る権利を支える社会教育施設としては、すごく重要な存在でなければならないのだけど、行政が困るわけではないですね。軽い気持ちで図書館を見ているのかもしれない。そういうことに対してもっと図書館の重要性を訴えていく必要がありますね。そのために大事なことはやっぱりファンを増やして、先ほどのおはなしの会などもなにかの物語をお話するだけでなく、たとえば「ゴッホを語ろう」に見られるように、あるテーマについてみんなで話し合うということですね。双方向のそんな場を作ったらいいんじゃないかと。単に一方的に教え諭すだけでなく、そういうことを通じてファンを増やしたらいいのでは。先ほど落語や講談の話をしました。南大泉図書館は美術と文学は問題ないと。そうすると音楽がないのでは。その点、南大泉区民館は割と充実しています。ついこの間もコンサートがあり、月に一回歌の会もあつたりします。こちらの図書館にはない多角的な活動を区民館はしていますね。それぞれの利点を融通しあつて、弱点を補い合うのがいいのでは。たとえば青少年館のピアノやドラムを使える点は若者にはいいだろうし、年配者向けにはこの地域に在住しているという民謡の唄の大家や、宮中の雅楽の笙を吹く雅楽師の方をお願いするのもいいと思います。やっぱり若者向けの音楽と年寄り向けの音楽というのはあるのだと思う。あとはさっきのお話だが、参加者が会話に参加するような工夫をすればいいのでは。私の好きな映画とか、私の思い出の旅とかのテーマを決めてそれをみんなで語り合うという参加型の事業があればと思います。とにかくファンを固めることが大切

利用者

数年前に「大人だってマンガが好き」という事業があり、参加したことがあります。その場では石ノ森章太郎などの話をしましたが、私は昔からマンガを読みます。ここの図書館は所蔵がたくさんあるので結構マンガを読む人がいるのではないかと思います。

私は『サンデー』とか『マガジン』とか少年マンガで育ったので、その企画はとても良かったです。だから棚にどんなマンガがあるかはわかっています。その他の本ものぞいていますが、必ずいくのはマンガコーナーです。

図書館

マンガの所蔵はこの図書館の特徴でもあります。

利用者

カウンターの中にもマンガがありますが、中に入るわけにもいかず。外からだとなにがあるかよくわからないのですが。

図書館

カウンターに声をかけていただけましたらお出しします。

利用者

目が年寄で悪いものでなにがあるのかわからないので。ただ読みすぎるのも目に悪いのでほどほどにしています。

図書館

マンガの所蔵はこの図書館の特徴でもあるので、活用についてもう少し考えていきたいと思います。

利用者

大人のマンガが読みたいわけではなくて、少年マンガ、少女マンガが好きなのです。

図書館

ありがとうございます。

地区区民館の音楽のコンサートはどんなものをされているのですか。

南大泉地区区民館

秋にやったのは管弦楽四重奏のコンサートと、ピアノやバイオリンなどのアンサンブルで、会話を楽しみながらみんなで歌も歌っていただく演奏会を行いましたね。ピアノや楽器は持ってきていただいて、セミプロの方が行っています。会場は建物の中央にある舞台のある和室になります。7～80人は入ります。

図書館

防音はどうなっていますか。

南大泉地区区民館

特に防音にはなっていませんが、普段からカラオケなどをやっていますので苦情はありません。

図書館

こちらでコンサートをするにはレクホールを使用することになるため、青少年館とも相談しますが防音設備がないため実施は難しいかもしれません。

イベントについていろいろとご意見をいただきましたが、せっかくですのでイベント

以外のこともお伺いしたいと思います。

職員の対応などはいかがでしょう。職員の対応のここがよかった悪かったなど、もし悪いようであれば、どんなところが気になったかなど教えていただければありがたいです。施設の面でもお聞かせいただければと思います。この裏にポケットパークという小さな公園がありますが、そこを使っただけにあたり、いろいろとご意見をいただくこともあるのですがいかがでしょうか。そういった職員の対応や施設への何かご要望ご意見等お聞かせいただけましたら幸いです。

利用者

悪いところがひとつもないというか、いいところばかりで。本を探すのに目が悪いので、上の方の本が見えづらく、取っていただきたいときをお願いするとすぐ取っていただいています。また同じ目線で話していただくのがありがたいです。

利用者

正面玄関の脇ではなくて角を曲がったところにある駐輪場ですが、奥と手前の2段に置かれていて、奥に止めていますと取り出しにくいので、白線が敷いてあると自転車を置いたり取り出したりしやすいかもしれません。青少年館も一緒だから混雑しますよね。一番奥にある駐輪場も最近知りました。

図書館

一番遠いところはやはりみなさん置きたがらないですね。

利用者

私の家は南大泉6丁目ですが、5・6丁目は線路の向こうにありますので、近所の方で図書館に行っている方はいるのかなって感じです。線路を渡るというのはそこですごく壁があります。南大泉地区区民館には行ったことがありません。母が車いすなので今度の事業の「川柳」はとても楽しみにしているのですが、渡る踏切が斜めなのでベビーカーなどの人もわかっていただけると思うのですが、渡る時に本当に緊張します。

図書館

線路を渡るのはレールにタイヤが入る恐れもあり躊躇しますね。

利用者

年齢的に自転車に乗らなくなってくる人もいるし、本も重いですからね。私は自分と母の分を乗せて乗っていますが、自分もいつまで元気で自転車をこげるのかなと思います。

図書館

練馬区では電子図書館のサービスを今年から始めましたので、ぜひそちらも活用していただけたらと思います。

利用者

電子だと見にくいというのでなかなか利用していません。この辺は昔、大泉図書館しかなく、移動図書館もありました。図書館が好きなので、たまに違う土地に遊びに行った時など、図書館はどこにあるのかなど探したりします。昔親族が埼玉の寄居に住んでいて遊びに行った時に図書館に寄ってみたのですが、プレハブの図書室のような造りのものでびっくりしました。住んでいる場所によって図書館のサービスがまったく違うの

ですよね。こちらは最近になってこんなところがあるのだとありがたいと思っています。

図書館

住む地域によってそういうサービスが受けられないのは本来なくしていきたいですね。地域によってはまだ移動図書館というのはありますね。

利用者

私が越してきた頃はその大泉図書館もなく、移動図書館がバスで公園にやってきて、東京でこんなところがあるのだとびっくりした覚えがあります。絵本もありましたので、子どもと移動図書館はよく利用しました、そのあと大泉図書館やここができてよかったです。

利用者

割と図書館の近くに住みたくて、どこにしようかと迷った時に図書館の近くにしました。

図書館

素晴らしい決め方ですね。ありがとうございます。

車いすを使われていてここは不便だなというところはありますか。

利用者

エレベーターが少し狭いですね。

利用者

先ほど、一方的でなく双方向での話ができるとよいとの話がありましたが、ここは最寄り駅が保谷ですが、本屋さんが一軒もなくなってしまったのがショックでした。先日、西東京市で古本市というのがあって私好みの絵本などの品ぞろえがあり、売り場のお兄さんが一人で取り仕切っていたのですが、見に来た方から質問攻めにあっているのを見て、みなさん会話に飢えているのだと思いました。本好きの人同士で話し合える場があればと思います。今日ラジオを聴いていたら、イギリスに在住している日本人のかたのお話で、西洋では17世紀から一冊の本について話し合う場（ブッククラブ）があると聞きました。やっているかたが多いみたいでコミュニティにもなっているようです。そういうのが図書館にもあると楽しいと思います。

図書館

読書会ですね。西洋では伝統がありますね。

利用者

私は初めて知りました。あとは別のニュースで、今後本屋さんの本の売り上げと図書館の貸出を合わせてランキングを決めていくというのがありました。それだと人気の本がわかりますよね。最近本や雑誌で皆さん1位のものしか読まない傾向があると聞きました。これさえ読んでおけば、これさえ聞いておけばという風潮になってきているというのがなにかに書いてあって、それはすごくまずいのではないかと思いました。あと南田中図書館のイベントだったのですが、それは双方向のものでとてもよかったです。また認知症とアートを融合させた事業がありましたが、それもとてもよかったです。

図書館

今日はイベントを色々教えていただいて、参考にさせていただきます。

図書館

お時間の方もすいぶん迫ってまいりましたが、これだけは伝えておきたいというようなことはございますか。

利用者

この図書館は、イベントの報告を「いつこういう事業を行いました」と必ず提示されているのが素晴らしいことだなと思います。それから地域とのつながりもものすごくやってくれているというのが報告からでもわかります。コロナの時はできませんでしたが、今は外に出て地域で本の読み聞かせを行っているというのも利用者の方がとても喜んでます。さきほどの、地区祭やフリーマーケットなどにも参加して、積極的に地域の人と交流を深めているのはいいなと思います。これからもそういう地域との繋がりを生かした運営を進めてほしい、そんな風に思いました。以上です。

図書館

地域の催しに参加すると、運営されている方々との繋がりもできるので、これからも続けていきたいと思います。

そろそろお時間となりました。

5 南大泉図書館長挨拶

本日は本当に貴重なご意見を色々と教えていただきありがとうございました。今後の図書館運営に生かしていければと思います。最後にアンケートにご協力ください。ご記入いただきましたらその場においていただけましたら幸いです。